

■令和5年度 八戸市健康福祉審議会 健康・保健専門分科会 会議録

日 時	令和5年8月30日(水) 14:00~15:10
場 所	八戸市総合保健センター 1階 大ホール
出席委員	工藤 清太郎 専門分科会長 小沢 久美子 副専門分科会長 久保澤 麻衣子 委員 河田 恭宏 委員 熊坂 覚 委員 西野 祐希 委員 山本 恵鶴子 委員 以上7名
欠席委員	なし
事務局	秋山こども健康部長、工藤保健所長、北村保健所副所長兼保健総務課長、 四戸健康づくり推進課長、大久保健康推進 GL、下斗米成人保健 GL、 沼岡副参事、渡部副参事、山田主幹(短)、上山栄養士、武田保健指導員、 小山内看護師 鈴木後期高齢者医療 GL、馬渡主幹 以上14名
議 事	1 専門分科会長の選出について 2 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況について 3 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」最終評価について ・次期計画に向けたタイムスケジュール(案) ・最終評価のアンケート内容(案) 4 健康づくり推進課の新規事業について ・健康はちのへ21ポイントアプリ事業 ・八戸市がん患者医療用補整具購入費助成事業 5 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 6 その他
概 要	議事1 専門分科会長は、委員の推薦を受け工藤 清太郎委員が選出された。 議事2 資料1に基づき、八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況について事務局から説明を行った。 議事3 資料2~4に基づき、八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」最終評価について事務局から説明を行い、事務局案のとおり承認された。 議事4 資料5~6に基づき、健康づくり推進課の新規事業について、事務局から説明を行った。 議事5 資料7に基づき、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について、事務局から説明を行った。 議事6 その他、質問・意見交換を行った。

▼会議内容

■ 次第

- 1 開会
- 2 専門分科会長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 専門分科会長の選出について
 - (2) 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況について
 - (3) 八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」最終評価について
 - ・次期計画に向けたタイムスケジュール（案）
 - ・最終評価のアンケート内容（案）
 - (4) 健康づくり推進課の新規事業について
 - ・健康はちのへ21 ポイントアプリ事業
 - ・八戸市がん患者医療用補整具購入費助成事業
 - (5) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について
 - (6) その他
- 4 閉会

■ 専門分科会長の選出

⇒小沢久美子副専門分科会長

本日、会長選出までの間、議長を務めさせていただきます小沢と申します。円滑に議事を進めてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。はじめに、次第3の議事（1）「専門分科会長の選出」についてです。本分科会長の小倉委員が退任されましたので、新たに会長の選出を行います。選出については、当審議会規則第5条第6項の規定により、委員の互選によることとなっております。選出方法には、投票と推薦の方法がありますが、推薦の方法でいかがでしょうか。それでは、どなたか御推薦をお願いいたします。

⇒熊坂委員

専門分科会長には工藤委員を推薦します。

⇒小沢久美子副専門分科会長

ただ今、専門分科会長に工藤委員の推薦がありました。皆様いかがでしょうか。それでは、専門分科会長は工藤委員をお願いすることに決定いたします。

■ 専門分科会長あいさつ

本日は、八戸市健康増進計画「第2次健康はちのへ21」の進捗状況や計画最終評価に向けてのアンケート調査の内容等についてご審議いただきたいと思います。委員の皆様からご意見を頂戴してこの計画を推進し、市民の健康づくりを進めていきたいと思いま

す。

■ 質問・意見

1. 小沢久美子副専門分科会長

質問(1)

資料1の1ページの目標項目、肥満傾向にある子どもの割合の減少について、小学校5年生の中等度・高度肥満傾向児の割合が令和4年度以降増加傾向にあります。また、20～60歳代男性の肥満者の割合や、40～60歳代女性の肥満者が令和2年度から4年度がほぼ横ばい状態で令和6年度の目標値までは到達が難しいような状況になっていると思われま

す。そこで2点、質問がございます。コロナ禍以外のことでこのような要因になっている理由をそれぞれどのように分析されておりますでしょうか。もしございましたらよろしくお願

いいたします。2点目は今後の改善策や検討されていることについてです。ポイントアプリ事業については運用が開始となったばかりですが、こちらは18歳以上の市民が対象とな

っておりますので、特に伺いたいのは肥満傾向にある子どもの割合の減少に導くための改善策についてはどのような検討がされておりますでしょうか。もし小学校と連携されていることとかございましたらご紹介いただけるとありがたく存じます。

⇒ (回答：四戸健康づくり推進課長)

肥満の要因ということで、運動不足と食事、コロナ禍というところでは運動不足が大きいのかと思いますけれども、食事については欠食(食事のリズムが不適切)ですとかそういったことが理由にあるかとは思いますが、これは今予測の段階でお話させていただきます。きちんとしたところは学校さんとのこれからの次期計画を策定するにあたり、よく検討して次の目標を立てていきたいと考えております。

2点目の今後の改善策ですけれども、こちらも同様でして18歳以上の方についてはアプリのほかに商工課との連携で働いている方々へのアプローチというふうなところで考えておるところです。子どもさんたちについては学校との連携をこれから図ってまいりたいと思

質問(2)

ポイントアプリ事業についてなんですけれども、まだ6ヶ月しか運用してないないですけれどもこれまでの段階で利用している市民の反応ですとか、あとはこういうことが改善につながりましたとか、効果を感じている事例等があればご紹介いただければありがたく存じます。

⇒ (回答：大久保健康推進GL)

多い問い合わせというのは、歩数がカウントされないですとか、そういうことがあってで

すね、あとは一般の方使っている方から「面白いですね」とお褒めの言葉をいただくことも何回かございました。

改善するということでは、通常歩けないくらいの歩数をカウントされている100万歩とかの方もいらっしゃいました。その方はこちらの権限で抹消したのですが、税金を使っての事業ですので、不正を防止するというのは今後対策していく必要があるかなと考えております。目的といたしまして楽しんでいただくということを前提としているのと、実際に運用する職員も楽しむということも大事だと思っていますので、引き続きどうすればより楽しくなるかを工夫していきたいと思っています。

2. 熊坂覚委員

質問(1)

歯と口腔の健康のところ、前回前々回も歯周病検診に関する質問をさせて頂いたのですが、質問というより進捗状況の報告なのでそぐわないのかもしれませんが、現在医科歯科連携で最重要項目が歯周病と糖尿病なのです。医科への連携、例えば歯周病が強度・中程度以上進んでいる方の糖尿病の割合というのが非常に高いということで、糖尿病に関しての健診や検査をする前に歯科において歯周病検診をして、これはちょっと進んでいるということで歯科治療を続けながら糖尿病外来に紹介状を書くということ、県の歯科医師会も八戸の歯科医師会も今一生懸命盛んにやっているところです。その啓蒙をもっとどんどん増やしていただければ、歯周病検診の割合というのはもう少し増えてくるのではないかと、ということが1点と、それから循環器系の問題ですけれども、歯周病が強度にあるいは中程度以上に進んでいる方ですけれども、アテローム性の動脈硬化というのに非常に頻発してですね、心筋梗塞あるいは脳梗塞の原因になってくるあるいはそのリスクが8倍から10倍だということもエビデンスとしてたくさん出てきています。ですからその単に歯周病検診ですよということで検査票持ってきますよね、だけでもそれは今まで行ってなかった方が歯科医院を受診するきっかけになるのには非常に効果があるのですけれども、その背景に歯周病だけの問題ではなくてその糖尿病あるいは動脈硬化の問題であるとかそういうことが非常に重要だよということで、最近はですね歯科の学会でもこういう問題、健康寿命に関する歯科口腔の健康ということがプライオリティとして非常に高い位置を占めてきているので、ぜひ次の計画の時にでも歯科を受診するあるいは歯周病検診を受診するということは、その虫歯云々ということよりもそういう全身との関りが非常に重要なのだということを前面に出していただければなというふうに思います。

⇒ (回答：四戸健康づくり推進課長)

はい、ご意見ありがとうございました。その通りと私共も認識しておりますので、そのように進めてまいりたいと思います。